



スイス再保険会社 新興アジア諸国の2桁成長が世界の保険業界をけん引

Contact:

Clarence Wong, Hong Kong
Telephone +852 2582 5644

Communications, Hong Kong
Telephone +852 2582 3660

Media Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 7171

Swiss Reinsurance Company Ltd
61st Floor, Central Plaza
18 Harbour Road
Hong Kong

Telephone +852 2582 3600
Fax +852 2582 3699
www.swissre.com

香港、2011年1月13日—スイス再保険会社（以下、スイス・リー）のエコノミストは2011年のアジアの保険業界について、新興市場が成熟市場を上回る堅調な成長を維持すると予測しています。新興アジア諸国では、特に中国が大きく寄与したことにより、2010年の実質ベースで生命保険料が16.8%、損害保険料が17.3%という力強い成長を示しており、2011年もこの好調が続くと予想されます。ただし、新たなリスクの出現にも警戒が必要です。

新興アジア諸国の2011年のGDP成長率は8%になるとの見通し

2011年の世界経済は年平均3.5%の着実な成長を続けると予想されます。新興アジア諸国（中国、インド、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム）の2011年の成長率は8%になるとの見通しです。この経済成長の主な原動力となるのは中国とインドで、今後2年間に年率8~9%の成長率を維持し、2020年までには、それぞれ世界第2位と第5位の経済大国になると予想されています。

スイス・リーのアジア担当チーフエコノミストであるクラレンス・ウォンは次のように述べています。「アジアの経済見通しは、堅調な国内消費および投資需要、持続的なアジアへの資本の流入、アジア域内貿易と投資の増加、政府の財政・金融政策支援などが原動力となり依然として好調です」

「しかし、バラ色の明るい見通しには、インフレ率の上昇、資産バブルの崩壊、資本フローが突然逆転する可能性、通貨戦争や保護貿易主義のリスクの増大など新しいリスクによるかげりも見えます」

新興アジア諸国における保険料の安定した伸び

世界の保険業界は金融危機から回復し、2011年、保険料の伸びは加速すると予想されています。

クラレンス・ウォンは次のように述べています。「アジアでは、地域経済の活況、所得の増加、都市化および高齢化による人口構成の変化などが生命保険および個人向け損害保険種目にとっての追い風となるでしょう」

アジアにおける生命保険料の伸びは継続

新興アジア諸国の生命保険料の実質成長率は、2010年には2009年の10.7%から推定16.8%まで上昇し、2011年にもおよそ10.3%の伸びが見込まれています。中国の生命保険料は2010年に(インフレ調整後)24.4%の増加となり、著しい伸びを示しました。一方、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナムも10%を超える伸びを記録しました。

クラレンス・ウォンは次のように述べています。「新興アジア諸国の成長は他のすべての新興地域を上回っています。これは、生命保険分野で最も明らかです。新興アジア諸国は、今後10年間、年率10%を超える伸びを維持するでしょう。投資リンク保険商品に対する堅調な需要と並んで、アジアでは保障タイプの保険にも大きな可能性があります」

家計の可処分所得の増加、低い預金金利、投資意欲の改善によって、投資リンク商品に対する需要が高まるでしょう。医療保険に対する需要も過去数年間で明らかな増加を示しています。

ただし、現在の低金利が保険会社の投資利回りに影響を与え、保証が組み込まれた商品を扱っている保険会社はそれによる二次損失を被る可能性があります。

生命再保険会社は、引き続き元受保険市場の好調な伸びから恩恵を受けました。また、自己資本軽減策を提供し、元受け部門でのM&A取引を支援することを目的とした再保険ソリューションに対する需要も増大しています。

中国の損害保険料の伸び、世界を上回る

新興アジア諸国は、損害保険の伸びでもトップであり、2010年の保険料は実質ベースで17.3%増加しました。2011年は12.5%の伸び率が予想されています。特に伸び率が高いのは中国(2010年は21.5%、2011年は14.1%)とベトナム(2010年は13%、2011年は14.2%)です。

自動車保険は、自家用車保有率のさらなる増加から恩恵を受け、また、所得の増加は財物保険の需要を刺激するでしょう。企業保険に対する需要は、政府出資のインフラ・プロジェクトや貿易関連事業の回復により、今後も増加が続くと見込まれます。

クラレンス・ウォンはさらに次のように述べています。「損害保険会社は、保険料の伸びは改善するが、料率への圧力、低い投資収益、保険金請求の増加等に起因する収益性の低迷傾向を示すと考えられます。」

損害保険分野については、アジアにおける1月1日の更改で、総合的な再保険キャパシティは依然として十分であるため、再保険料率を抑制していることが示されました。とはいえ、オーストラリアの雹の嵐やニュージーランドの地震があった自然災害分野など、損害の発生した分野では料率の是正が見られました。

今後の課題

利上げは保険会社の投資リターンの向上に役立つかもしれませんが、資産が時価評価されれば利用可能な資本が圧迫されることとなります。アジアではインフレ率が上昇しており、保険会社のクレーム支払いコストに影響を与える可能性があるため、収益性を維持するには厳正な引受を行う必要があります。

クラレンス・ウォンは次のように述べています。「当社では、リスクベースの自己資本(RBC)ソルベンシー規制が、厳格化したRBC基準の実施と共に、アジアでより一般的になっていくと考えています。また一部の規制当局は、RBC規制を補完するためにシナリオやストレステストの利用を増やしています。これは保険会社のバランスシートをさらに圧迫し、資本の必要性を増大させます。保険会社は、引受とリスク管理に注力し、リスク・エクスポージャーの増加をカバーするのに十分な保険料率を確保すべきです」

別表

実質 GDP 成長率、生命保険料の実質増加率、損害保険料の実質増加率の詳細な数値につきましては、別掲の表をご参照ください。

スイス再保険会社について

スイス再保険会社(略称「スイス・リー」)は、世界をリードする再保険会社です。当社は世界20か国以上で事業拠点を展開しています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にする金融商品を提供しています。伝統的な再保険商品と損害および生命・医療保険関連サービスは、包括的なリスク管理のための保険をベースにしたコーポレート・ファイナンス・ソリューションとその付加サービスによって補完されています。スイス・リーはスタンダード&プアーズから「A+」、ムーディーズから「A1」、A.M. Bestから「A」の格付けを取得しています。

スイス・リーは1913年よりアジアとの連携を始めました。現在ではアジア・パシフィック地域に約1000名のスタッフを擁し、アジア本部を香港に置いています。

別表:

実質GDP成長率	2008	2009	2010	2011(E)	2012(E)
世界	1.9%	-1.8%	3.9%	3.5%	3.8%
先進工業国	0.3%	-3.3%	2.5%	2.3%	2.5%
新興市場国	5.8%	1.4%	6.4%	6.0%	6.2%
- 新興アジア諸国	8.1%	7.3%	8.9%	8.0%	7.7%
中国	9.6%	9.7%	9.7%	8.7%	8.1%
インド	8.3%	7.4%	8.4%	8.8%	9.0%
インドネシア	5.8%	4.5%	6.1%	6.0%	6.1%
マレーシア	4.1%	-1.7%	7.3%	4.8%	5.1%
フィリピン	3.7%	0.9%	7.0%	4.9%	4.2%
タイ	4.8%	-2.3%	8.1%	4.8%	5.0%
ベトナム	6.3%	5.3%	7.4%	7.3%	6.1%
その他のアジア市場					
オーストラリア	2.3%	1.2%	2.8%	2.9%	3.0%
香港	2.5%	-2.8%	6.0%	4.5%	5.0%
韓国	2.4%	0.2%	5.9%	4.8%	4.5%
シンガポール	1.5%	-2.0%	14.5%	5.0%	4.3%
台湾	0.7%	-1.9%	10.0%	4.8%	3.7%
日本	-1.2%	-6.2%	4.2%	1.2%	1.5%
- 中東	4.5%	0.0%	5.5%	5.5%	5.8%
- 中南米	4.2%	-1.9%	5.2%	4.4%	5.0%
- 中東欧	4.7%	-6.8%	2.9%	3.7%	4.6%

各産業部門の実質増減率	2008	2009	2010	2011(E)	2012(E)
世界	-7.3%	-0.2%	4.0%	3.8%	4.2%
先進工業国	-9.5%	-0.8%	2.7%	2.9%	3.3%
新興市場国	13.9%	4.2%	13.5%	9.1%	9.3%
アジア全体	3.5%	5.3%	7.5%	5.1%	5.3%
- アジアの新興市場国	19.3%	10.7%	16.8%	10.3%	10.3%
中国	40.9%	12.8%	24.4%	11.1%	10.0%
インド	1.7%	7.9%	3.4%	9.5%	12.0%
インドネシア	-0.5%	-8.8%	13.5%	10.9%	11.2%
マレーシア	-2.6%	11.9%	10.5%	6.1%	6.0%
フィリピン	-31.7%	-2.6%	9.5%	6.7%	6.3%
タイ	3.7%	16.0%	11.7%	5.7%	6.0%
ベトナム	-14.9%	0.7%	12.1%	16.1%	13.9%
その他のアジア市場					
オーストラリア	-16.2%	-15.6%	2.6%	3.5%	4.0%
香港	-11.5%	-4.7%	8.7%	6.8%	6.2%
韓国	-6.4%	1.8%	2.2%	3.7%	3.8%
シンガポール	-9.8%	-13.0%	10.3%	7.9%	7.1%
台湾	-1.7%	4.9%	23.0%	3.5%	3.5%
日本	1.4%	4.7%	0.3%	1.9%	2.0%
その他の新興市場					
- 中東	3.4%	8.2%	7.4%	10.2%	9.0%
- 中南米	4.8%	8.6%	8.5%	9.0%	9.0%
- 中東欧	19.4%	-18.0%	8.3%	5.5%	7.8%

製造業部門の実質増減率	2008	2009	2010	2011(E)	2012(E)
世界	-1.4%	0.2%	1.3%	2.7%	3.7%
先進工業国	-2.6%	-0.4%	0.3%	1.7%	3.0%
新興市場国	7.1%	3.9%	7.3%	8.2%	7.3%
アジア全体	2.6%	5.9%	7.9%	7.0%	6.2%
- アジアの新興市場国	7.7%	16.5%	17.3%	12.5%	9.7%
中国	10.7%	23.2%	21.5%	14.1%	10.0%
インド	1.6%	5.4%	9.0%	10.4%	12.1%
インドネシア	11.7%	-4.6%	8.6%	8.9%	5.3%
マレーシア	3.6%	5.1%	6.4%	5.6%	5.2%
フィリピン	-0.2%	1.3%	4.4%	8.6%	7.2%
タイ	-0.3%	4.4%	5.1%	6.1%	6.1%
ベトナム	2.6%	9.8%	13.0%	14.2%	12.1%
その他のアジア市場					
オーストラリア	1.5%	6.6%	2.6%	-1.3%	1.6%
香港	5.6%	7.2%	6.6%	4.1%	4.5%
韓国	6.6%	12.5%	8.3%	7.3%	6.3%
シンガポール	6.3%	-1.0%	7.9%	7.1%	6.0%
台湾	-7.5%	-4.6%	0.5%	1.9%	3.5%
日本	-4.0%	-1.1%	1.7%	1.9%	1.9%
その他の新興市場					
- 中東	4.5%	4.1%	7.7%	9.1%	8.9%
- 中南米	9.2%	3.8%	4.0%	6.6%	5.1%
- 中東欧	7.1%	-6.6%	-0.5%	4.1%	5.9%

出典: スイス再保険会社経済調査・コンサルティング部